

平成28年7月20日
愛育会 成人教育部

愛育会会員様（世帯）

「家庭教育セミナー」 講演のまとめ

日頃は愛育会成人教育部の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

7月14日（木）に開催いたしました「家庭教育セミナー」におきましては、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

セミナーに参加いただけなかった皆様にも、広く講演内容を知っていただくために、概要をまとめさせていただきました。

今後の家庭教育の参考にしていただければ幸いです。



家庭教育セミナー

演 題 「子どもの心を大切にするために」

講 師 北ブロックなごや子ども応援委員会

後藤 麻理 スクールカウンセラー

掛井 一徳 スクールカウンセラー

【講演内容】

○ 最初に、後藤麻理スクールカウンセラー（以下S C）から、各学年の児童の特徴についてお話がありました。

1年生→ 現実が理解できず、思ったことをそのまま口にして質問します。

2年生→ 現実がわかってきて、大人の話に興味を持ち出します。

他律的で、自分にとって信頼できる人の言葉で良い・悪いを判断し始めます。

3年生→ 友達関係が大事になります。友達に「ウケル」ための悪ふざけが増えるので要注意の時期です。

空想より現実を見るようになり、道徳性も備わってきます。

4年生→ 根拠だてて考えられるますが、理論的な矛盾に敏感になり、大人や親に反抗し始めます。自主性が芽生え、親子関係の見直しが必要な時期でもあります。

5年生→ 反抗期が落ち着き、他人への意識（他人が日ごろどう思っているのか）、主体性（自分がどうしたいのか）も理解できるようになります。また、えこひいきなど公平感に敏感になるのもこの時期です。

6年生→ 大人の真似事が多く、めだつことやおしゃれに価値を置き始めます。ルールや規則を自分で理解し、自分で自分を律する行動ができるようになります。



○ 次に子どもへの対応方法について掛井一徳S Cより、以下のようなお話をいただきました。

<子どもへの対応の基本1>

・掘り出さない：何か聞きたい事柄があっても、そのことについて子どもが、何も言っていないなら、あえてこちらから聞かなくて良い。

・無視をしない：子どもが話しかけてきた時に無視をしない。

・大慌てしない：「もしこう言ってきたらどうしよう。」と、「もし」を想像して大人がかえって



慌ててしまうことがあるが、子どもの成長、タイミングに合わせて落ち着いて、対応すれば良い。

<子どもへの対応の基本2(難しい質問に対して)>

- ・意見を聞く : こちらから聞くと、子どもは結構答えてくれる。
- ・感情を聞く : 質問の裏に潜んでいる感情(怖さとか)を聞く。
- ・現実検討する: 今後はどうすべきか、シュミレーションをする。
- ・評価はしない: 良い・悪い・ダメを大人が評価すべきではない

<子どもの考えは、成長段階を追って変わっていく。>

◆盗撮の件でも……◆

- ・盗撮が何かピンと来ない子どもは、「先生、居なくなってかわいそう」
- ・成長すると、「盗撮ってひどいことだ！かわいそうと思った私はバカだ！」
- ・大人になると「あの先生、ずっとやってたのかな？捕まって当たり前だ」

つまり、子どもの考えられる範囲・資質は成長段階によって異なるので、親から段階を外した内容を教えたい考えさせなくてもよい。そして、子供と一緒に考えることを大事にする。信頼関係が構築でき、信頼関係ができると話ができるようになる。

◆親の思いを伝える順番を大切に◆

親の思いを先に伝えることによって、子どもが自分で考えることに蓋をしてはいけぬ。なぜそうしたいのか、どう思うのかを子どもに考えさせ、聞き出してあげる。この順番を守って、親の思いを深く伝えることが大切。

◆信頼関係があるから、困った時にも…◆

子どもは、「親は自分の話を聞いてくれるし、親の考え方も教えてくれる」と思ったら、困った時に、親に助けを求めようと思ってくれる。例えば、自ら命を落としてしまう子は援助を求めず、求められないから最悪の結果になってしまうケースが多い。子どもと思いを伝え合う、日々の積み重ねが大切。

子どもから聞いてくれたことを、ゆっくり考えましょう。ゆっくり考えるためには、無視をしないで慌てないで、その子の考え方・気持ちを汲み取って、現実に合わせて検討をし、そして自分の考えを伝えてみましょう。そのプロセスを経ることにより、子供が「聞いてよかった」という会話になり、ひいては子供が将来より良く、より健全に育っていく布石になると思います。

●参加者の感想●

- ・心にフタをさせてしまう私の発言も多いなと反省しました。忙しくても話を聞く習慣があれば、子どもは話してくれるのだなと改めて思いました。
- ・今現在、困っている事に対してのヒントがもらえてありがたかったです。
- ・当たり前だけど忘れがちな事を大切にして、子どもと接していきたいと思いました。
- ・子どもに質問されると正しい答えを早く返さないといけないと思っていましたが、今日のお話を聞いて、意見を聞いたり親子で考えてみたりしようと思いました。
- ・今日はお話が聞けて勉強になりました。子ども達との対話を大切にして、反抗期も笑って過ごせる親子関係を目指します。
- ・子どもの特徴や対応の仕方を具体例を出してお話していただけたので、実践しやすいように思えました。また質問に対して「あるある！」という内容を先生にお答えいただけました。どれもまず相手の意見に同調する、ガス抜きをすることが大事だなと思いました。大人同士でもコミュニケーションのために使えそうでした。年齢に応じて対応していこうと思います。